

学力向上に向けた取組

◆基盤となる学習規律の確立

のびよう北っ子 10の約束

1. いすにきちんとこしかけよい姿勢を保つ
2. 濃い鉛筆・赤青鉛筆・消える消しゴム・下敷き・定規を使う。
3. 黙って拳手し、指名されたら「はい」と大きな声で1回だけ返事をする。
4. 大きい声で文末までしっかり話す。
5. 静かに反応しながら聞く。
6. ていねいな文字でノートにきちんと書く。
7. 学習道具を前日に準備し、忘れ物をしない。
8. 宿題はていねいに取り組み、進んでの学習もできる。
9. 前時の終わりに次時の準備をし、始業の合図を守る。
10. 授業中勝手なおしゃべりをせず、時間いっぱいがんばる。

漢字の指導方法を全校で統一する

1. 新出漢字の練習（1日2～3字）
 - ① ゆび書き
 - ② なぞり書き
 - ③ うつし書き
 - ④ 空書きチェック（全員一斉）で確認
2. 習った漢字の定着
 - *テストを定期的に繰り返す
 - *習った漢字を日常生活に活用

P T A 研修委員会が、「家庭での音読」の取組を毎学期行っている。全校統一の音読カードを使って各家庭で実施し、音読の力を伸ばすことの大切さを共有することができている。

☆朝の会での一日の活動の見通しと帰りの会での評価、次への改善

◆校内研究

『子どもが主体的に学ぶ授業のあり方について』

～「学び合う」活動を通して～

「めあて」「課題」を確認



自分の考えを持つ

考えを深める
「学び合い」



【曜日ごとの朝活 10 分間に、短作文、ことば、漢字、読書の実施】

その日のつまずきは、その日に指導

◆基礎・基本の徹底

ドリルタイム：月～金の放課後 15 分の補習



月・水曜日：読書



火曜日：漢字タイム



学びの教室「寺子屋」：金曜日の放課後（2・3年）



木曜日：読解タイム



金曜日：短作文タイム

